



2026年4月10日

各位

会社名 株式会社 チョダ  
代表者名 代表取締役社長 町野 雅俊  
(コード番号 8185 東証プライム市場)  
問合せ先 常務取締役管理本部長 井上 裕一郎  
(TEL. 03-5335-4134)

### 2026年2月期通期業績予想(連結・個別)と実績値との差異に関するお知らせ

2025年10月9日に公表しました2026年2月期通期業績予想(連結・個別)と、  
本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせします。

#### 1、通期業績予想と実績値との差異

##### (1) 連結

2026年2月期通期連結業績予想と実績との差異(2025年3月1日~2026年2月28日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	81,850	1,700	1,950	1,000	29.07
実績値(B)	81,377	1,090	1,508	237	6.91
増減額(B-A)	△472	△609	△441	△762	—
増減率(%)	△0.6	△35.8	△22.7	△76.2	—
(ご参考) 前期通期 (2025年2月期)	91,835	2,193	2,566	2,923	83.11

##### (2) 個別

2026年2月期通期個別業績予想と実績との差異(2025年3月1日~2026年2月28日)

	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想(A)	79,400	1,600	750	21.81
実績値(B)	78,934	1,144	14	0.43
増減額(B-A)	△465	△455	△735	—
増減率(%)	△0.6	△28.5	△98.0	—
(ご参考) 前期通期実績 (2025年2月期)	80,060	3,152	2,832	80.52

## 2、差異の理由

個別業績については、経費は、物価上昇や人件費の増加により前年同期比 103.1%と増加しましたが、計画通りに推移しました。

しかしながら、粗利・在庫面では、計画売上未達に伴う在庫増加により適正化のための割引が発生しました。加えて、市場における激しい値下げ競争を受けて値下げ計画を前倒したため、売上総利益率は計画から 0.4 ポイント減少し、計画を下回りました。

さらに、上半期に実施した販促施策は中長期的な効果を狙ったものでしたが、短期的な集客には結びつかず、上半期の既存店客数は前年同期比 93.8%にとどまりました。これを踏まえ、11 月以降に販促施策を見直して対策を講じた結果、下半期の既存店客数は前年同期比 95.9%と回復傾向を示しました。一方で、商品の品揃えが常態化し、新規顧客獲得に向けた販促施策に新規性が不足していたため、前年の客数水準には届きませんでした。結果として、客数の減少が売上高に大きく影響し、売上高は計画を 472 百万円下回り、売上総利益額の減少要因となりました。

また、繰延税金資産について今後の事業計画に基づき慎重に検討した結果、繰延税金資産約 500 百万円を取り崩し、法人税等調整額に同額計上することとなり、営業利益、経常利益、当期純利益ともに計画を下回りました。

連結業績の中心は個別業績によるものであり、連結子会社の業績は軽微で、全体の業績に与える影響はほとんどありません。

以上の結果、業績予想数値と実績値との差異が発生いたしました。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表時点において収集可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上